

第46事業年度

(平成25年度)

事業報告書

自 平成25年4月1日

至 平成26年3月31日

第46事業年度事業報告書

(平成25年度)

自 平成25年4月1日
至 平成26年3月31日

平成25年度における当基金の業務の主な内容は、次の通りである。

I 平成25年度についての概要

1 契約数量について

年度当初の契約数量は、次表の通り1,488,409トン（前年比で100.2%、数量では2,495トンの増加）となったが、その後、畜産経営者の廃業のため4,343トン（152戸）が減少した。

また、基金間移動により、契約転出件数35件（全農基金へ12件、商系基金へ23件）、契約転出数量下期合計で4,034トン（全農基金へ673トン、商系基金へ3,361トン）であった一方、契約転入件数は22件（全農基金から2件、商系基金から20件）、契約転入数量下期合計では1,782トン（全農基金から132トン、商系基金から1,650トン）となり、差し引きすると転出が上回り、契約件数で13件、契約数量で2,252トンの転出超過となった。

この結果、今年度の確定契約数量は1,481,813トンとなった。

(単位：トン)

	当初契約数量	解約数量	基金間移動数量	確定契約数量
第1四半期	371,348.720			371,348.720
第2四半期	365,811.520	430.980		365,380.540
第3四半期	378,813.660	1,343.620	▲1,116.000	376,354.040
第4四半期	372,435.870	2,569.300	▲1,136.200	368,730.370
年度計	1,488,409.770	4,343.900	▲2,252.200	1,481,813.67

2 準備財産について

1. 通常補てん準備財産

(1) 通常補てん積立金

① 積立金の額

本年度の単位数量当たりの積立金およびその負担額については、平成24年12月21日の第252回理事会並びに第187回評議員会で、トン当たり1,800円とし、その負担区分は下記の通り議決した。

負担区分	通常補てん積立金の額
加入生産者	トン当たり600円
加入会員	トン当たり300円
契約会員	(注) トン当たり900円 (含積増金600円)
計	トン当たり1,800円

(注) 契約会員の負担する積み増し分については、業務方法書第11条、第12条の定めるところによる。

また、新規加入者が既加入者との均衡を保つために納入する本年度の別途納入金については、平成24年度末の通常補てん準備財産が赤字となるので、徴収しないこととした。

② 平成25年1月18日開催の臨時総会議決の業務方法書附則の規定により、契約会員が別途積み立てる額について

第46事業年度（平成25年度）において、契約会員の負担する単位数量当たりの通常補てん積立金の額は、平成25年2月15日開催の第253回理事会並びに第188回評議員会において、上記負担額に加えトン当たり100円を負担することを決定した。

③ 積立金の積立について

平成25年度は、平成24年度末の通常補てん準備財産が60億9千万円の損失であること、更に、平成20年の価格差補てんに当たり、補てん財源の不足分を、(公社) 配合飼料供給安定機構（以下「安定機構」という。）を經由して借入を行い補てんした借入金の返済額が年間で11億1千万円あることなどから、第1四半期から第4四半期までの全期について、積み増しを含む積立金の積立を議決決定し、積立を受けることとした。

【第1四半期】

第1四半期の積立金については、平成25年4月25日に、基本積立金部分（トン当たり1,200円）プラス積み増し金部分（トン当たり600円）のトン当たり1,800円、並びに契約会員が別途積み立てる額（トン当たり100円）を加えた額の705,562,568円を受け入れた。

【第2四半期】

第2四半期の積立金については、平成25年6月25日に、基本積立金部分（トン当たり1,200円）プラス積み増し金部分（トン当たり600円）のトン当たり1,800円、並びに契約会員が別途積み立てる額（トン当たり100円）を加えた額の694,223,026円を受け入れた。

【第3四半期】

第3四半期の積立金については、平成25年9月25日に、基本積立金部分（トン当たり1,200円）プラス積み増し金部分（トン当たり600円）のトン当たり1,800円、並びに契約会員が別途積み立てる額（トン当たり100円）を加えた額の715,072,676円を受け入れた。

【第4四半期】

第4四半期の積立金については、平成25年12月25日に、基本積立金部分（トン当たり1,200円）プラス積み増し金部分（トン当たり600円）のトン当たり1,800円、並びに契約会員が別途積み立てる額（トン当たり100円）を加えた額の700,587,703円を受け入れた。

この結果、平成25年度の通常補てん積立金収入は、2,815,445,973円となった。

(2) 価格差補てん金の交付

【第1四半期】

平成25年3月28日開催の第254回理事会並びに第189回評議員会において、平成25年度第1四半期の配合飼料価格が、前四半期に比べてトン当たり3,226円値上り、補てん限度額がトン当たり5,844円となったことから、トン当たり5,800円の補てんを行うことが決定された。

その後、安定機構による異常補てん交付金がトン当たり2,062円交付されることとなったので、通常価格差補てん金については、トン当たり3,738円の交付を8月12日におこなった。

その後の追加補てん、返還を含めた補てん総額は1,296,558,252円である。

なお、第1四半期の補てんに際しては、補てん財源の不足から、安定機構を通じ、市中銀行から借り入れを行い、補てん交付を実施している。

【第2四半期】

平成25年6月21日開催の第256回理事会並びに第191回評議員会において、平成25年度第2四半期の配合飼料価格については、理事会開催後に価格改定額の公表が行われることから、理事会開催時点で補てん単価を定めることができないため、補てん額並びに交付日については理事長に一任された。

その後、平成25年度第2四半期の配合飼料価格が、前四半期に比べてトン当たり1,449円値上り、補てん限度額がトン当たり5,055円、業務方法書上の補てん上限額はトン当たり5,050円となったが、昨年秋以降の配合飼料価格の高騰に対応し補てんを続けてきているため、平成25年度第2四半期においては、補てん財源の不足から補てんを十分に行うことができない状態であったため、第269回常任理事会並びに第357回幹事会で協議し、トン当たり2,400円の補てんを行うことが決定され、平成25年11月12日に補てん金の交付を行い、その後の追加補てん、返還を含めた補てん総額は798,359,180円である。

なお、第2四半期の補てんに際しても、補てん財源の不足から、安定機構を通じ、市中銀行から借入れを行い、補てん交付を実施している。

【第3四半期】

平成25年9月30日開催の第260回理事会並びに第194回評議員会において、平成25年度第3四半期の配合飼料価格が、前四半期に比べてトン当たり1,976円値下げされ、補てん限度額がトン当たり724円となったことから、トン当たり700円の補てんを行うことが決定され、平成26年2月14日に242,342,120円の交付を実施した。

【第4四半期】

平成25年12月25日開催の第261回理事会並びに第195回評議員会において、平成25年度第4四半期の配合飼料価格が、前四半期に比べてトン当たり497円値下げされ、補てん限度額が▲448円となったことから、補てんを行わないことが決定された。

(3) 補てん金返戻金

平成25年6月21日に平成24年度第4四半期に交付された通常価格差補てん金の返還があり、1,974円を受け入れた。

(4) 期間外補てん金の交付

平成25年6月21日に平成24年度第4四半期の通常価格差補てん金の追加交付を行い、16,700円を交付した。

2. 異常補てん準備財産

(1) 積立金の積立について

この積立金は、政府予算で決定される配合飼料価格安定対策事業費と同額を三基金が安定機構に積立てするもので、その積立額は、三基金と安定機構とが年度開始前に締結する「配合飼料異常補てん交付金交付契約」に基づく契約数量の割合に応じた額である。

平成25年度は、平成23年度に政府が予算措置した97億円の民間負担分の48億5千万円と平成24年度に政府が予算措置した148億円の民間負担分の一部を合わせて積み立てることとなっており、平成25年度の民間負担分としては62億3千万円を積み立てることとなった。

当基金の負担額としては376,922千円であり、同額を安定機構へ納付した。

【上期】

異常補てん積立金として、平成25年6月25日に第1四半期分として、94,182,090円を受け入れ、平成25年8月8日に第2四半期分として、92,777,910円を受け入れた。

上記積立金は、機構積立金として、平成25年8月8日に186,960,000円を支出した。

【下期】

異常補てん積立金として、平成25年12月25日に第3四半期分として、95,792,335円を受け入れ、平成26年3月25日に第4四半期分として、94,169,665円を受け入れた。

上記積立金は、機構積立金として、平成26年3月31日に189,962,000円を支出した。

(2) 異常価格差補てん金の交付

【第1四半期】

異常補てんを発動する要件を満たしたため、異常補てん交付金としてトン当たり2,062円の交付を8月12日におこなった。

その後の追加補てん、返還を含めた補てん総額は715,221,275円である。

【第2四半期】

異常価格差補てん金を発動する要件を満たさなかったため、異常価格差補てん金の交付は無かった。

【第3四半期】

異常価格差補てん金を発動する要件を満たさなかったため、異常価格差補てん金の交付は無かった。

【第4四半期】

異常価格差補てん金を発動する要件を満たさなかったため、異常価格差補てん金の交付は無かった。

(3) 補てん金返戻金

平成25年6月21日に平成24年度第4四半期に交付された異常価格差補てん金の返還があり434円を受け入れ、同額、安定機構に返納した。

(4) 期間外補てん金の交付

平成25年6月21日に平成24年度第4四半期の異常価格差補てん金の追加交付のため、安定機構から異常補てん交付金として3,678円の交付を受け、同額を交付した。

3. 補助金交付準備財産について

(1) 平成25年度配合飼料価格高騰緊急支援特別交付事業の実施

平成25年度第2四半期において、通常基金が補てん財源の不足から補てんを十分に行うことができない状態であったことを受け、国は特例的に緊急の措置を講じ、生産者負担を圧縮するため、満額補てんに不足する額の半分相当のトン当たり1,325円の特別交付金の交付を行う配合飼料価格高騰緊急支援特別交付事業の実施を決めた。

事業の実施主体は安定機構であり、配合飼料価格高騰緊急支援特別交付事業実施要領に基づく事務処理要領を制定し事業に参画し、トン当たり1,325円の特別交付金の交付を平成25年11月12日に受け、同日、全国連に交付した。

その後の追加交付、返還を含めた特別交付金の交付総額は440,759,897円である。

(2) 畜産経営安定化飼料緊急支援事業の実施

平成25年度第2四半期において、通常基金が補てん財源の不足から補てんを十分に行うことができない状態であったことを受け、国は特例的に緊急の措置を講じ、配合飼料の製造又は販売等を行う事業者が融資機関から資金を借り入れて、配合飼料原料価格の高騰による畜産経営体向け配合飼料価格の抑制や支払期限の延長等に対応する取組を行う場合において、当該借入れに係る金利相当額を助成する事業の実施を決めた。

事業の実施主体は通常基金とされ、当基金としても畜産経営安定化飼料緊急支援事業実施要領を制定し、全国酪農業協同組合連合会と日本養鶏農業協同組合連合会が事業に参画することとなった。

4. 長期借入金について

(1) 安定機構からの貸付事業による借入れ

平成24年度第4四半期に係る通常補てんについては、補てん交付額全額を手持ちの通常補てん準備財産で賄うことが出来ないことから、平成24年12月6日、平成25

年1月18日に開催した臨時総会において、定款、業務方法書の一部変更、並びに通常価格差補てん金の不足額を安定機構から借入れることを議決し、その後、農林水産大臣に申請した借入申請についても承認を得て、長期借入金を借り入れて補てんを行った。

平成24年度第4四半期の補てん交付財源として借り入れを行った長期借入金の額は、1,183,590,000円である。

(2) 安定機構からの平成25年度通常補てん財源貸付事業による借り入れ

平成25年度第1四半期並びに第2四半期に係る通常補てんについては、補てん交付額全額を手持ちの通常補てん準備財産で賄うことが出来ないことから、平成25年4月22日に開催した臨時総会において、通常価格差補てん金の不足額を安定機構から借入れることを議決し、その後、農林水産大臣に申請した借入申請についても承認を得て、長期借入金を借り入れて補てんを行った。

平成25年度第1四半期、及び第2四半期の通常価格差補てん金の交付財源として借り入れを行った長期借入金の額は、815,050,000円である。

(3) 安定機構からの通常補てん財源強化事業による借り入れ

国として3基金が平成26年度に安定機構を通じて市中銀行に返済する額180億円の内、90億円を（独）農畜産業振興機構の資金に借り換える事業（通常補てん財源強化事業）を平成25年度に行うことから、当基金として平成26年度に機構を通じて市中銀行に返済する額1,113,600,000円の半額の556,800,000円の借り入れを行った。

この借入については、平成26年3月17日に開催した臨時総会において、定款の変更、並びに当該の額を安定機構から借入れることを議決し、その後、農林水産大臣に申請した借入申請についても承認を得て、平成26年3月27日に借入を行った。

(4) 長期借入金返済

平成20年度に安定機構から「通常補てん財源貸付金」として借り入れた額の未返済分2,227,200,000円の内、平成25年度に返済予定であった1,113,600,000円を安定機構に返済した。

併せて上記(3)の借入により通常補てん財源の運営基盤の強化が図られたが、平成26年度第1四半期の補てん所要額が、平成26年度上期の積立金財源で対応可能であると考えられることから、平成26年3月27日開催の第263回理事会並びに第197回評議員会において承認を得て、平成20年度に安定機構から「通常補てん財源貸付金」として借り入れた額について、平成26年3月31日に556,800,000円の繰上償還を実施した。

従って、平成25年度末の長期借入金残高は、「通常補てん財源貸付金」の残高556,800,000円、「通常補てん財源支援事業貸付金」の残高1,792,160,000円、「貸付事業貸付金」の残高2,071,420,000円、「平成25年度通常補てん財源貸付金」の残高815,050,000円、並びに「通常補てん財源強化事業貸付金」の残高556,800,000円の合計5,792,230,000円となった。

(5) 長期借入金の支払利息

平成20年度並びに平成25年度に安定機構から借り入れた長期借入金の残高に係る支払利息を、安定機構に納入した。平成25年度の支払利息は24,958,992円であり、この支払利息は、安定機構から特別交付金として同額補てんされる。

Ⅱ 基金の運営について

有価証券の運用果実として2,139,402円を受け入れた。

また、1号会員から前年度に引き続き当初契約数量に対してトン当たり10円の会費(負担金) 14,884,095円の納入を受けた

Ⅲ 役員の補欠選任について

(1) 平成25年6月21日開催の通常総会において、役員の補欠選任について、以下の通りの案件の承認議決を受けた。

- ① 役員の補欠選任 マルイ農業協同組合の上田正代表理事組合長を当基金の理事に選任

(2) 平成26年1月27日開催の平成25年度第4回臨時総会において、役員の補欠選任について、以下の通りの案件の承認議決を受けた。

- ① 役員の補欠選任 全国開拓農業協同組合連合会の村上進代表理事専務を当基金の理事に選任

Ⅳ 旧定款の一部変更について

(1) 平成25年9月20日開催の平成25年度第3回臨時総会において、下記の案件の定款の一部変更について、承認議決を受け、その後農林水産大臣の変更認可を得た。

- ① 附則の追加 総会の議決を得、農林水産大臣の承認を受けた後に、畜産経営体の配合飼料購入費の一部を助成する事業及び配合飼料製造業者等が融資機関から資金の借入れをし、配合飼料原料価格の高騰による配合飼料価格の抑制や支払期限の延長等に対応する取組を行う場合、当基金が当該借入れに係る金利相当額の助成を行う事業を実施出来る規定を追加

(2) 平成26年3月17日開催の平成25年度第5回臨時総会において、下記の案件の定款の一部変更について、承認議決を受け、その後農林水産大臣の変更認可を得た。

- ① 附則の追加 総会の議決を得、農林水産大臣の承認を受けた後に、通常補てん準備財源の運営基盤の強化を図るため、平成25年度に限り、安定機構からの特例貸付措置により、翌事業年度以降に通常補てん準備財産をもって償還が行える長期借入金の借入ができるよう規定を追加

V 新定款の制定並びに一部変更について

(1) 平成25年6月21日開催の通常総会において、平成26年4月1日に一般社団法人に移行することを条件として、一般社団法人全国畜産配合飼料価格安定基金の新定款の変更の案を諮り、承認議決を得た。

(2) 平成26年3月17日開催の平成25年度第5回臨時総会において、下記の案件の新定款の一部変更について、承認議決を受けた。

- ① 条文の追加 平成25年度に引き続き、平成26年度以降も国等が行う畜産振興に関する事業の実施ができるよう事業の規定を追加

VI 業務方法書の一部変更について

(1) 平成25年6月21日開催の通常総会において、平成26年4月1日に一般社団法人に移行することを条件として、業務方法書の一部変更について、以下の通りの案件の承認の議決を受けた。

- ① 条文の削除 平成26年4月1日に移行する一般社団法人では、剰余金の分配を行うことができないことから、業務方法書第14条に規定されている通常補てん積立金の割り戻しの条文と整合性を取るため、平成26年4月1日に同条を削除

(2) 平成25年7月31日開催の平成25年度第2回臨時総会において、業務方法書の一部変更について、以下の通りの案件の承認の議決を受けた。

- ① 附則の追加 平成25年度第2四半期の通常価格差補てんに交付可能な財源が確定する平成25年8月31日までに、平成25年度第2四半期の通常価格差補てん交付単価を定めることを可能にするための規定を追加

(3) 平成26年1月27日開催の平成25年度第4回臨時総会において、平成26年4月1日に一般社団法人に移行することを条件として、業務方法書の一部変更について、以下の通りの案件の承認の議決を受けた。

- ① 条文の追加 基本契約期間満了時において、通常補てん準備財産が基本契約期間中に積み立てられるべき積立金の4分の1を超えると見込まれ

るときは、納入すべき積立金の納入を免除することが行えるよう規定を追加

(4) 平成26年3月17日開催の平成25年度第5回臨時総会において、業務方法書の一部変更について、以下の通りの案件の承認の議決を受けた。

- ① 条文の変更 今般の配合飼料価格安定制度の通常補てんの指標の見直しを受け、公正・客観的な制度運営を行う観点から、異常補てんと同様の輸入原料価格の変動額により、通常価格差補てん金を算出できるよう規定を変更
- ② 附則の追加 配合飼料価格安定基金制度の的確な運用を図るため、第47事業年度（平成26年度）以降長期借入金の返済が完了するまでの間に限り、第22条の規定による前年度から繰り越された通常補てん準備財産には、長期借入金を含まないものとする規定を追加。

Ⅶ 配合飼料価格安定制度の見直しについて

農林水産省が平成25年12月に公表した配合飼料価格安定制度の見直しに基づき、農林水産省の協力（講師派遣等）を得、基金主催により全国5ブロックの会場にて見直しに係る説明会を開催し、制度見直しの周知に努めた。

Ⅷ 一般社団法人への移行について

平成25年8月6日に移行認可申請を行い、平成25年9月6日付けで公益認定等委員会から内閣総理大臣あてに移行認可の答申があり、平成26年3月19日内閣総理大臣より認可書が交付され、平成26年4月1日に登記の運びとなった。

Ⅸ 総会、理事会・評議員会および監査について

総会、理事会、評議員会および監査を次表の通り開催し、各議案について慎重審議の上議決された。

X 常任理事会・幹事会について

常任理事会、幹事会を次表の通り開催し、所要事項について慎重審議した。

XI 行政庁の認可、承認及び報告事項について

業務運営に必要な資料を整備し、その都度次表の通り監督官庁および関係機関に報告し、基金制度の適正な運営を行った。

1. 総会

区 分	年 月 日	内 容
第 1 回 臨 時 総 会 (場 所) 畜 産 基 金 会 議 室	平成25年 4 月22日	1. 長期借入金の借入の件
通 常 総 会 (場 所) 港 勤 労 福 祉 会 館 会 議 室	平成25年 6 月21日	1. 第45事業年度（平成24年度）事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、キャッシュ・フロー計算書及び収支計算書承認の件 2. 第46事業年度（平成25年度）事業計画書及び収支予算書承認の件 3. 第46事業年度（平成25年度）借入金最高限度額決定の件 4. 役員報酬の件 5. 役員の補欠選任の件 6. 一般社団法人への移行に関する件
第 2 回 臨 時 総 会 (場 所) 畜 産 基 金 会 議 室	平成25年 7 月31日	1. 業務方法書の一部変更の件
第 3 回 臨 時 総 会 (場 所) 畜 産 基 金 会 議 室	平成25年 9 月20日	1. 定款の一部変更の件 2. 第46事業年度（平成25年度）事業計画書及び収支予算書の変更の件
第 4 回 臨 時 総 会 (場 所) 畜 産 基 金 会 議 室	平成26年 1 月27日	1. 役員の補欠選任の件 2. 業務方法書の一部変更の件 3. 定款の変更の案（一般社団法人全国畜産配合飼料価格安定基金の定款）の一部変更の件
第 5 回 臨 時 総 会 (場 所) 畜 産 基 金 会 議 室	平成26年 3 月17日	1. 定款の一部変更の件 2. 業務方法書の一部変更の件 3. 長期借入金の借入の件

2. 理事会（9回）、評議員会（8回）

区 分	年 月 日	内 容
第255回 理事会 第190回 評議員会 （ 場 所 ） 相鉄田町ビル会議室	平成25年5月28日	1. 第46事業年度（平成25年度）通常総会の招集について 2. 第46事業年度（平成25年度）通常総会に付議すべき事項について ①第45事業年度（平成24年度）事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、キャッシュ・フロー計算書及び収支計算書承認の件 ②第46事業年度（平成25年度）事業計画書及び収支予算書承認の件 ③第46事業年度（平成25年度）借入金最高限度額決定の件 ④役員報酬の件 ⑤役員の新補欠選任の件 ⑥一般社団法人への移行に関する件
第256回 理事会 第191回 評議員会 （ 場 所 ） 相鉄田町ビル会議室	平成25年6月21日	1. 平成25年度第2四半期に係る価格差補てん金の交付について 2. 平成25年度第2四半期以降に係る価格差補てん数量契約の変更について 3. 平成25年度第1四半の価格差補てん金に係る長期借入金の額について 4. 一般社団法人への移行認可申請について 5. 事務処理要領の一部変更について
第257回 理事会 （ 場 所 ） 港勤労福祉会館会議室	平成25年6月21日	1. 副理事長の選任について
第258回 理事会 第192回 評議員会 （ 場 所 ） 畜産基金会議室	平成25年7月12日	1. 第46事業年度（平成25年度）第2回臨時総会の開催について 2. 第46事業年度（平成25年度）第2回臨時総会に付議すべき事項について ①業務方法書の一部変更の件

区 分	年 月 日	内 容
第259回 理 事 会 第193回 評 議 員 会 (場 所) 畜 産 基 金 会 議 室	平成25年 8 月 30 日	1. 第46事業年度（平成25年度）第3回臨時総会の開催について 2. 第46事業年度（平成25年度）第3回臨時総会に付議すべき事項について ①定款の一部変更の件 ②第46事業年度（平成25年度）事業計画書及び収支予算書の変更の件 3. 畜産経営安定化飼料緊急支援事業実施要領の制定について
第260回 理 事 会 第194回 評 議 員 会 (場 所) 相 鉄 田 町 ビ ル 会 議 室	平成25年 9 月 30 日	1. 会員の異動について 2. 平成25年度第3四半期に係る価格差補てん金の交付について 3. 平成25年度第3四半期以降に係る価格差補てん数量契約の変更について 4. 平成25年度第2四半の価格差補てん金に係る長期借入金の額について 5. 事務処理要領の一部変更について 6. (公社) 配合飼料供給安定機構の運営費の一部負担について
第261回 理 事 会 第195回 評 議 員 会 (場 所) 相 鉄 田 町 ビ ル 会 議 室	平成25年12月25日	1. 評議員の委嘱について 2. 会員の異動について 3. 平成25年度第4四半期に係る価格差補てん金の交付について 4. 平成25年度第4四半期に係る価格差補てん数量契約の変更について 5. 第47事業年度（平成26年度）の単位数量当たりの通常補てん積立金の額、及びその負担割合並びに別途納入金の額について 6. 第46事業年度（平成25年度）第4回臨時総会の開催について 7. 第46事業年度（平成25年度）第4回臨時総会に付議すべき事項について ①役員候補の補欠選任の件 ②業務方法書の一部変更の件

区 分	年 月 日	内 容
第262回 理事会 第196回 評議員会 (場 所) 畜産基金会議室	平成26年2月24日	③定款の変更の案（一般社団法人全国畜産配合飼料価格安定基金の定款）の一部変更の件 1. 第46事業年度（平成25年度）第5回臨時総会の開催について 2. 第46事業年度（平成25年度）第5回臨時総会に付議すべき事項について ①定款の一部変更の件 ②業務方法書の一部変更の件 ③長期借入金の借入の件
第263回 理事会 第197回 評議員会 (場 所) 相鉄田町ビル会議室	平成26年3月27日	1. 任期満了に伴う評議員の委嘱について 2. 会員の異動について 3. 長期借入金の繰上償還について 4. 第47事業年度（平成26年度）予算編成に係る繰入金について 5. 第47事業年度（平成26年度）暫定予算について 6. 入会預り金の一部の雑費収入への繰り入れについて 7. 移行登記に伴う外部役員の登記について

3. 監事監査(2回)、公認会計士監査(1回)、四半期末検査(4回)、月次検査(12回)

区 分	年 月 日	内 容
月次検査(3月)	平成25年4月8日	3月入出金および残高検査
月次検査(4月)	平成25年5月10日	4月入出金および残高検査
四半期末検査	平成25年5月14日	平成24年度第4四半期末残高証明照合 予算実績対比(全畜連)
公認会計士監査	平成25年5月16日	第45事業年度公認会計士監査
監事監査	平成25年5月17日	第45事業年度決算監査
月次検査(5月)	平成25年6月11日	5月入出金および残高検査
月次検査(6月)	平成25年7月8日	6月入出金および残高検査
月次検査(7月)	平成25年8月2日	7月入出金および残高検査
四半期末検査	平成25年8月20日	平成25年度第1四半期末残高証明照合 予算実績対比(全酪連及び細野監事立会)
月次検査(8月)	平成25年9月4日	8月入出金および残高検査
月次検査(9月)	平成25年10月2日	9月入出金および残高検査
月次検査(10月)	平成25年11月6日	10月入出金および残高検査
四半期末検査	平成25年11月21日	平成25年度第2四半期末残高証明照合 予算実績対比(全開連)
監事監査	平成25年11月25日	上期監事監査
月次検査(11月)	平成25年12月4日	11月入出金および残高検査
月次検査(12月)	平成26年1月9日	12月入出金および残高検査
月次検査(1月)	平成26年2月7日	1月入出金および残高検査

区 分	年 月 日	内 容
四 半 期 末 検 査	平成26年 2 月24日	平成25年度第 3 四半期末残高証明照合 予算実績対比（日鷄連及び櫻井監事立会）
月 次 検 査（2月）	平成26年 3 月 4 日	2 月入出金および残高検査

4. 常任理事会（10回）、幹事会（14回）

区 分	年 月 日	内 容
第352回 幹事会 （ 場 所 ） 相鉄田町ビル会議室	平成25年4月17日	1. 基金制度の見直しについて 2. 平成24年度第4四半期の補てん交付財 源の考え方について
第265回 常任理事会 第353回 幹事会 （ 場 所 ） 相鉄田町ビル会議室	平成25年5月22日	1. 理事会及び評議員会への報告事項につ いて ①平成25年度通常価格差補てん契約数量 について ②平成24年度第4四半期に係る価格差補 てん金の交付実績について ③平成25年度以降の資金運用計画につ いて 2. 理事会及び評議員会への提出議案につ いて ①第46事業年度（平成25年度）通常総会 の招集について ②第46事業年度（平成25年度）通常総会 に付議すべき事項について a. 第45事業年度（平成24年度）事業 報告書、貸借対照表、正味財産増減 計算書、財産目録、キャッシュ・フ ロー計算書及び収支計算書承認の件 b. 第46事業年度（平成25年度）事業 計画書及び収支計算書承認の件 c. 第46事業年度（平成25年度）借入 金最高限度額決定の件 d. 役員報酬の件 e. 役員の補欠選任の件 f. 一般社団法人への移行に関する件
第266回 常任理事会 第354回 幹事会 （ 場 所 ） 相鉄田町ビル会議室	平成25年6月19日	1. 理事会及び評議員会への報告事項につ いて ①平成25年度における異常補てん積立金 の額の確定について 2. 理事会及び評議員会への提出議案につ いて

区 分	年 月 日	内 容
第267回 常任理事会 第355回 幹事会 (場 所) 持ち回り	平成25年 6 月28日	①平成25年度第 2 四半期に係る価格差補てん金の交付について ②平成25年度第 2 四半期以降に係る価格差補てん数量契約の変更について ③平成25年度第 1 四半期の価格差補てん金に係る長期借入金の額について ④一般社団法人への移行認可申請について ⑤事務処理要領の一部変更について 1. 書面による第258回理事会並びに第192回評議員会の開催について 2. 書面による第258回理事会並びに第192回評議員会への付議事項について
第268回 常任理事会 第356回 幹事会 (場 所) 持ち回り	平成25年 8 月19日	1. 書面による第259回理事会並びに第193回評議員会の開催について 2. 書面による第259回理事会並びに第193回評議員会への付議事項について
第269回 常任理事会 第357回 幹事会 (場 所) 持ち回り	平成25年 8 月29日	1. 平成25年度第 2 四半期に係る価格差補てん金の交付について
第358回 幹事会 (場 所) 相鉄田町ビル会議室	平成25年 9 月18日	1. (公社) 配合飼料供給安定機構の運営費の一部負担について
第270回 常任理事会 第359回 幹事会 (場 所) 相鉄田町ビル会議室	平成25年 9 月24日	1. (公社) 配合飼料供給安定機構の運営費の一部負担について 2. 理事会及び評議員会への報告事項について ①平成25年度第 1 四半期に係る価格差補てん金の交付実績について ②平成25年度下期からの基金間移動について

区 分	年 月 日	内 容
		<ul style="list-style-type: none"> ③一般社団法人への移行認可答申について ④第258回理事会並びに第192回評議員会（書面決議）開催結果について ⑤第259回理事会並びに第193回評議員会（書面決議）開催結果について ⑥第46事業年度（平成25年度）第2回臨時総会（書面決議）開催結果について ⑦第46事業年度（平成25年度）第3回臨時総会（書面決議）開催結果について <p>2. 理事会及び評議員会への提出議案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①会員の異動について ②平成25年度第3四半期に係る価格差補てん金の交付について ③平成25年度第3四半期以降に係る価格差補てん数量契約の変更について ④平成25年度第2四半期の価格差補てんに係る長期借入金の額について ⑤事務処理要領の一部変更について ⑥（公社）配合飼料供給安定機構の運営費の一部負担について
<p>第360回 幹事会 （場 所） 相鉄田町ビル会議室</p>	<p>平成25年10月29日</p>	<p>1. 基金制度改革について</p>
<p>第271回 常任理事会 第361回 幹事会 （場 所） 相鉄田町ビル会議室</p>	<p>平成25年12月6日</p>	<p>1. 配合飼料価格安定制度の見直しの動きについて</p>
<p>第272回 常任理事会 第362回 幹事会 （場 所） 相鉄田町ビル会議室</p>	<p>平成25年12月24日</p>	<p>1. 配合飼料価格安定制度の見直しについて</p> <p>2. 理事会及び評議員会への報告事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①平成25年度第2四半期に係る価格差補てん金の交付実績について

区 分	年 月 日	内 容
		<ul style="list-style-type: none"> ②平成25年度配合飼料価格高騰緊急支援特別交付事業特別交付金交付実績について ③平成25年度上期事業概要について ④平成25年度上期監査報告について ⑤配合飼料価格安定制度の見直しについて <p>3. 理事会及び評議員会への提出議案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①評議員の委嘱について ②会員の異動について ③平成25年度第4四半期に係る価格差補てん金の交付について ④平成25年度第4四半期に係る価格差補てん数量契約の変更について ⑤第47事業年度（平成26年度）の単位数量当たりの通常補てん積立金の額、及びその負担割合並びに別途納入金の額について ⑥第46事業年度（平成25年度）第4回臨時総会の開催について ⑦第46事業年度（平成25年度）第4回臨時総会に付議すべき事項について
<p>第273回 常任理事会 第363回 幹事会 （場 所） 持ち回り</p>	<p>平成26年2月7日</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 書面による第262回理事会並びに第196回評議員会の開催について 2. 書面による第262回理事会並びに第196回評議員会への付議事項について
<p>第364回 幹事会 （場 所） 相鉄田町ビル会議室</p>	<p>平成26年3月24日</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 配合飼料価格安定制度検討ワーキングチームに対する意見のとりまとめについて
<p>第274回 常任理事会 第365回 幹事会 （場 所） 相鉄田町ビル会議室</p>	<p>平成26年3月25日</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 理事会及び評議員会への報告事項について ①第262回理事会並びに第196回評議員会（書面決議）開催結果について

区 分	年 月 日	内 容
		<p>②第46事業年度（平成25年度）第5回臨時総会（書面決議）開催結果について</p> <p>③平成25年度第3四半期に係る価格差補てん金の交付実績について</p> <p>④平成25年度末通常補てん準備財産等の状況について</p> <p>⑤平成26年度通常総会、6月開催予定の理事会並びに評議員会の開催日程について</p> <p>⑥一般社団法人への移行について</p> <p>2. 理事会及び評議員会への提出議案について</p> <p>①任期満了に伴う評議員の委嘱について</p> <p>②会員の異動について</p> <p>③長期借入金の繰上償還について</p> <p>④第47事業年度（平成26年度）予算編成に係る繰入金について</p> <p>⑤第47事業年度（平成26年度）暫定予算について</p> <p>⑥入会預り金の一部の雑費収入への繰り入れについて</p> <p>⑦移行登記に伴う外部役員の登記について</p> <p>3. 自民党の配合飼料価格安定制度検討ワーキングヒヤリング対応について</p>

5. 行政庁の認可、承認及び報告事項

区 分	年 月 日	内 容
農 林 水 産 大 臣	平成25年 4 月30日	<p>長期借入金に関する承認申請</p> <p>平成24年12月 6 日開催の第45事業年度（平成24年度）第 1 回臨時総会にて議決を受けた定款の一部変更（附則の追加）に基づき、平成24年度第 4 四半期分の長期借入承認申請を行った。</p>
農 林 水 産 大 臣	平成25年 6 月26日	<p>平成24年度事業報告書などの提出</p> <p>農林水産大臣の所管に属する公益法人の設立及び監督に関する規則の第 6 条規定に基づき、第45事業年度（平成24年度）事業報告書、第46事業年度（平成25年度）事業計画書、収支予算書、平成24年度末会員名簿を提出した。</p>
国税庁課税部 審理室長	平成25年 6 月26日	<p>特定の損失の補てん業務に係る資金の平成24年度の収支状況について（報告）</p> <p>平成22年 1 月21日付、課審 5 - 3、課審 4 - 3 により国税庁長官から指定を受けている配合飼料価格差補てん業務に係る資金のうち、平成24年度における収支状況を報告した。</p>
農 林 水 産 大 臣	平成25年 7 月17日	<p>登記の変更に伴う届出書を提出</p> <p>一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第303条の規定に基づく、役員変更登記を報告した。（川畑副理事長退任に伴う後任上田理事の補欠選任）</p>
農 林 水 産 大 臣	平成25年 7 月26日	<p>長期借入金に関する承認申請</p> <p>平成25年 4 月22日開催の第46事業年度（平成25年度）第 1 回臨時総会にて、定款に基づき長期借入金の借入を議決し、平成25年度の長期借入承認申請を行った。</p>

区 分	年 月 日	内 容
農 林 水 産 大 臣	平成25年 9 月25日	定款の一部変更に係る認可申請 平成25年 9 月20日開催の第46事業年度（平成25年度）第 3 回臨時総会にて議決を受けた、定款の一部変更について、認可申請を行った。
農 林 水 産 大 臣	平成25年11月18日	登記の変更に伴う届出書を提出 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第303条の規定に基づく、役員変更登記を報告した。（檜岡専務理事の住所変更に伴う届け出）
農 林 水 産 大 臣	平成26年 2 月19日	登記の変更に伴う届出書を提出 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第303条の規定に基づく、役員変更登記を報告した。（高橋理事退任に伴う後任村上理事の補欠選任）
農林水産省生産局長	平成26年 3 月13日	通常補てんの発動基準変更承認申請書を提出 公正・客観的な制度運営を行う観点から、異常補てんと同様の輸入原料価格の変動額により補てん金を算出する内容を申請
農 林 水 産 大 臣	平成26年 3 月17日	定款の一部変更に係る認可申請 平成26年 3 月17日開催の第46事業年度（平成25年度）第 5 回臨時総会にて議決を受けた、定款の一部変更について、認可申請を行った。
農 林 水 産 大 臣	平成26年 3 月17日	長期借入金に関する承認申請 平成26年 3 月17日開催の第46事業年度（平成25年度）第 5 回臨時総会にて、定款に基づき長期借入金の借入を議決し、平成25年度の長期借入承認申請を行った。

区 分	年 月 日	内 容
国 税 庁 長 官	平成26年 3 月18日	特定の損失等の補てん業務に係る資金の指定申請について (平成26年 3 月27日付け課審6 - 6、課審5 - 7により、国税庁長官から資金の指定を受ける)
農林水産省生産局長	平成26年 3 月28日	特定の損失等の補てん業務に係る資金の指定文書受領報告

XII 会員数及び入会預り金の額

(預り金の単位は千円)

会員の資格		一号会員	二号会員	三号会員	四号会員	計	
会 員 数	24年度末現在	4	243	2	75	324	
	増加	新規加入		1		1	
	減少	脱退		4		2	6
		合併等 (移管)		2			2
	25年度末現在		4	238	2	73	317
入 会 預 り 金 の 額	24年度末現在	152,340	6,930	180,000	2,050	341,320	
	増加	新規加入		10		10	
	減少	脱退		40		20	60
		振替		20		10	30
	25年度末現在		152,340	6,880	180,000	2,020	341,240

平成25年度異動の内容

1. 新規加入会員(1会員 1口)
(2号会員) 箒根酪農業協同組合(1口)
2. 合併等(移管)による減少会員
 - ①(合併前) えんゆう農業協同組合(1口)、生田原町農業協同組合(1口)
(合併後) えんゆう農業協同組合(2口)
 - ② 全国農業協同組合連合会群馬県本部を全国農業協同組合連合会に移管
3. 脱退会員(6会員 6口)
(2号会員) 宮崎酪農業協同組合(1口)、田方南部酪農業協同組合(1口)、
石川郡畜産農業協同組合(1口)、甘楽酪農業協同組合(1口)
(4号会員) 雄平酪農業生産組合(1口)、株式会社かいたく(1口)
4. 入会預り金の額の振替理由

過去に脱退した一部の会員に対する出資金の未返還が判明し、その返還の作業を行ったが、最終的に返還先が不明の出資金相当額(3万円)を、平成26年3月27日開催の第263回理事会並びに第197回評議員会の承認を受け、入会預り金から雑収入に振替を行った。

XII 役員名簿

平成26年3月31日現在

理事監事の別	氏名	出身会員		常勤・非常勤
		名称	役職等	
理事長	砂金 甚太郎	全国酪農業協同組合連合会	代表理事会長	非常勤
副理事長	上田 正	マルイ農業協同組合	代表理事組合長・畜産業	非常勤
専務理事	楢岡 義樹	全国酪農業協同組合連合会		常勤
理事	赤坂 陽次	全国酪農業協同組合連合会	常務理事	非常勤
理事	原田 陽一	山形県酪農業協同組合	代表理事組合長・畜産業	非常勤
理事	尾形 文清	ふくおか県酪農業協同組合	代表理事組合長・畜産業	非常勤
理事	村上 進	全国開拓農業協同組合連合会	代表理事専務	非常勤
理事	井上 富男	佐賀県開拓畜産農業協同組合	代表理事組合長・畜産業	非常勤
理事	杉原 健一	日本養鶏農業協同組合連合会	代表理事副会長	非常勤
理事	白岩 茂樹	全国畜産農業協同組合連合会	代表理事専務	非常勤
理事	古平 力	茨城県畜産農業協同組合連合会	代表理事会長・畜産業	非常勤
監事	櫻井 徳一	栃木県開拓農業協同組合	代表理事組合長・畜産業	非常勤
監事	細野 勝美	赤城酪農業協同組合連合会	代表理事副会長・畜産業	非常勤
以上 理事 11名 監事 2名 計 13名				

XV 評議員名簿

平成26年3月31日現在

氏 名	出 身 会 員	
	団 体 名	役 職
佐々木 光彦	標茶町農業協同組合	参 事
貞 廣 修	北海道チクレン農業協同組合連合会	代表理事理事長
中 村 益 実	青森県畜産農業協同組合連合会	総 務 部 長
赤 堀 誠	酪農とちぎ農業協同組合	専 務 理 事
藤 井 道 人	農 林 中 央 金 庫	農林水産環境事業部長 副 部
田 中 康 弘	茨城中央畜産農業協同組合	副 組 合 長
近 藤 昌 伸	岐阜県酪農農業協同組合連合会	参 事
梅 岡 正 人	全国酪農農業協同組合連合会	購 買 部 長
白 井 靖 彦	全国開拓農業協同組合連合会	事業推進部長
桐 林 鋼 治	日本養鶏農業協同組合連合会	事 業 部 長
森 川 末 広	全国畜産農業協同組合連合会	事 業 部 長
以 上		11名